

アレルギー疾患先端治療センター

専門性の高いトータル・アレルギーケアを提供し、心配事が少しでも解決できるような診療を心がけています。



診療科
ホームページ
QRコード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前			(皮膚科)	(皮膚科)	
午後	(耳鼻咽喉科)		(小児科隔週)	(小児科隔週・呼吸器内科)	



得意とする疾患と担当医師

- アレルギー性鼻炎 / 後鼻神経切断術、レーザー下鼻甲介粘膜焼灼術、症状に応じた鼻内視鏡手術、舌下免疫療法
耳鼻咽喉科：鈴木 康弘（非常勤講師）
- 好酸球性副鼻腔炎 / 難病指定のための検査、内視鏡下鼻内手術、生物学的製剤療法
耳鼻咽喉科：鈴木 康弘（非常勤講師）
- 金属アレルギーを含む接触皮膚炎 / アレルゲン同定と除去療法
皮膚科：沖山 奈緒子（教授）、金澤 あずさ（助教）、岩本 雄太郎（助教）
- アトピー性皮膚炎・慢性蕁麻疹・慢性痒疹 / 生物学的製剤、免疫抑制剤、紫外線療法など
皮膚科：沖山 奈緒子（教授）、金澤 あずさ（助教）、岩本 雄太郎（助教）
- 成人食物アレルギー・薬剤アレルギー / アレルゲン同定と除去療法
皮膚科：沖山 奈緒子（教授）、金澤 あずさ（助教）、岩本 雄太郎（助教）
- 無汗症を伴うコリン性蕁麻疹 / 発汗試験やアセチルコリン皮内テストなど診断・ステロイドパルス療法
皮膚科：沖山奈緒子（教授）、竹下 八菜（助教）、飯田 忠恒（助教）、藤本 智子（非常勤講師）
- 難治性喘息 / 生物学的製剤を併用した薬物療法
呼吸器内科：大谷 義夫（非常勤講師）、小松崎 恵子（助教）、柴田 翔（助教）
- 歯科金属・歯科材料アレルギー / 歯科材料分析検査（私費）
歯科アレルギー外来：駒田 亘（准教授）、松村 菜由子（特任助教）
- 小児食物アレルギー、小児気管支喘息、小児アトピー性皮膚炎、小児蕁麻疹
小児科：大柴 晃洋（非常勤講師）、石川 史（非常勤講師）



特色・診療内容

- アレルギー疾患は呼吸器・鼻・眼・皮膚・消化器など全身に症状が出る疾患です。当センターでは、呼吸器内科・小児科・皮膚科・耳鼻咽喉科のアレルギー専門医が横断的に密接に協力して総合的にアレルギー疾患を治療してまいります。それにより、全身のアレルギー疾患を同時に根本から治療することが可能です。
- 皮膚症状を伴うアレルギー疾患の病態・原因解明を積極的に行うとともに、アトピー性皮膚炎を中心に全身療法による治療を行います。（皮膚科）
- 内服や点鼻薬等の保存的治療に抵抗性の症例に対して、追加治療を検討する事が出来ます。（耳鼻咽喉科）
- アレルギー性気管支肺真菌症、好酸球性副鼻腔炎、食物アレルギーによるアナフィラキシーなど合併例などにも対応します。
- アレルギー疾患以外の子小児科各種専門外来と協力して子どもの成長を考えた総合的な診療、療育が可能です。（小児科）
- 歯科材料が原因または誘発物質になっていると思われる様々な疾患について、疾患との因果関係を各種検査により調べ、疾患改善と再発防止を図るための道筋を調べ、治療に関する適切なご提案をするための検査外来です。一部の検査は皮膚科と連携して行っています。（歯科アレルギー外来）



お願い

下記の患者さんをご紹介します。

- 耳鼻咽喉科
 - ・好酸球性副鼻腔炎を含めた、好酸球増多症
- 皮膚科
 - ・アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、蕁麻疹（特にコリン性蕁麻疹）、慢性痒疹、食物・薬剤アレルギー疑い症例
- 呼吸器内科
 - ・生物学的製剤を導入したいがお困りの症例。過敏性肺炎（従来より診療実績があり専門外来担当医につなげてまいります）
- 小児科
 - ・重症気管支喘息、診断や治療に苦慮する食物アレルギーなど。
- 歯科アレルギー外来
 - ・金属、歯科材料アレルギーに起因する各種アレルギー疾患
診断、治療方針立案の為に各種検査を実施（保険外）。実際の歯科治療は当院の診療他科やかかりつけ歯科へご案内となりますので、ご了承ください。
ご紹介いただく際には、当センターの各診療科宛てにご紹介いただければ幸いです。
（例：「アレルギー疾患先端治療センター 皮膚科」宛）

【外来】初診事前予約受付（地域連携室）

TEL 03-5803-4655（平日8:30～16:00）

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼（入院支援室）

TEL 03-5803-4506（平日8:30～17:00）

※詳細はP.7をご覧ください。